

記事 ○地下鉄施設等の保守、維持に関する研究会(第4回土木部会)を開催

○ 地下鉄施設等の保守、維持に関する研究会(第4回土木部会)を開催しました。

去る7月19日(金)の14時から、当協会会議室において東京都交通局をはじめ9鉄道事業者で構成する「第4回土木部会」を開催し、9事業者の担当者16名及び(公財)鉄道総合技術研究所6名が参加しました。

この「土木部会」は、「地下鉄における構造物の予防保全手法の確立をめざして」をテーマに研究会を実施しておりますが、今回は「地下鉄構造物の塩害について」を議題とし、鉄道総合技術研究所から「コンクリート構造物の塩害と維持管理」及び「地下構造物の劣化の将来予測」について講演を頂きました。

まず、「コンクリート構造物の塩害と維持管理」では、維持管理の考え方及び塩害の補修方法について説明を受け、引き続き「地下構造物の劣化の将来予測」では、材料劣化の現状分析とモデル路線による試算に基づく全体数量の概算予測について説明を受けました。その後、各鉄道事業者の「地下鉄構造物の塩害についての現状」を取りまとめた資料を事務局から説明するとともに、その中でも、現在「塩害対策」を実施している事業者である東京地下鉄(株)、東京都交通局、福岡市交通局からその実情について説明がありました。

今回の土木部会では、長時間にわたり「塩害対策の在り方」について鉄道総研の技術者と各交通事業者の担当者との間で熱心な議論が交わされましたが、現在、構造物の塩害に対する完璧な補修手法が確立されておらず、補修工法の選定には多くの方法がないため、その課題が多いことも分かりました。

これらの議論の状況を踏まえ、「土木部会」においては、今後「地下構造物の塩害対策」など「構造物の劣化判定」について更に検討・研究を進めるとともに、「予防保全手法の確立」に繋げていくこととしています。



①「第4回土木部会」の総研の説明



②「第4回土木部会」の質疑風景

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先： mukaida@jametro.or.jp